

社会福祉法人 慈愛園

慈愛園子供ホーム 園長 緒方 健一

1. 全般的な施設運営について

児童養護施設 慈愛園子供ホームは、関係行政の指導と法人の経営方針に従い、当園に備わっている物理的、人的な資源を存分に活用し、入所児童の支援の向上をはかり、併せて、職員研修を充実させ、資質の向上を図った。

入所児童の多様化にともない、心理職員による個別面接、個別対応職員による個別対応、家庭支援相談員により、児相と家庭との連携に力を入れると同時に、家庭の再構築をはかった。

また、地域社会の子育てニーズに対応すると同時に、地域福祉全般に力を入れ、その専門的拠点としての役割を推進した。

施設支援システムの改善については、各種委員会活動を充実させ、職員間の連携や意思疎通を高めると同時に、今後の社会的養護の方向性を検討し、小規模ユニットケア「ネルセンホーム」を開始、さらには看護師の配置が実現した。また、入所児童の減少とより効果的な支援を目指すために、定員削減を要望として掲げ、26年度の定員81名への削減を実現することができた。

環境整備については、ホーム内外を整備し、特に危険物のチェック、除去に努めてきた。

社会的養護関係施設に義務化された第三者評価を受審し、園の現状を再認識すると同時に、本園運営の課題が明確になった。理念の明確化、マニュアル関係整備と業務の標準化が次年度の課題である。

2. 支援状況について

- (1) 個別対応職員、家庭支援専門相談員、心理療法職員、また看護師の連携もと、児童とホーム職員との人間関係の強化を目指し、個別対応に重点を置き、県及び市の児童相談所とも連携をはかり、親子関係の強化、改善を図ったことから、4名の児童を家庭復帰につなげることができた。また、個別の課題を有し、より効果的な支援を行うための措置変更(2名)、里親委託(1名)年度末には5名の児童が就職自立、1名が専門学校への進学を果たした。
- (2) ケア向上委員会を中心に、小規模化への道筋を明確化すると同時に、職員交流や研修にも力を入れ、支援に役立てると同時に、今後の当園の中長期計画を具体化すると同時に勤務内容の改善を進めてきた。
- (3) 職員、児童の夜間の安全確保、また児童の通信手段としてのホーム携帯を活用、情報の共有化を図り、携帯使用についての児童の訓練としても活用が出来た。

- (4) 地域の各種団体と連携し、地域福祉向上と地域と園との有機的な交流のための具体的な行事を計画し、地域福祉に寄与した。(校区独居老人昼食会、校区おせち宅配、シルバー独身者ひなまつり会等)、さらに校区の地域福祉ネットワーク「ほっとネット砂取」への参画を行った。
- (5) 児童と職員との交流や社会性の涵養のために、月ごとに様々な行事等を取り入れ、児童と職員との信頼関係を強化した。併せて長期休暇等に家庭生活体験事業を行い、家庭生活の経験の少ない児童に対して、里親さん宅、職員宅への外泊体験を実施。
*利用児童 (のべ23名 32泊)
- (6) 家庭復帰支援と保護者との関係強化のため、児童相談所の意見も聞きつつ、家庭と園で協力、情報共有と支援に力を入れ、面会、外出、外泊の向上をはかった。(別紙報告書)
- (7) ボランティアとの連携を密にして、ボランティアの確保を図り、入所児童の成長と人間関係の拡大を図るとともに、児童の社会性の向上を図った。
- (8) 小学4年生以上の児童に対して、冬休みに外部教育専門家による性教育を実施し、正しい性教育に力を入れた。また、高校を卒業して自立する児童に対してのリーディングケアを実施し、その一部に性教育を加え、社会的なスキルを高めていくための支援を行った。
- (9) 中学3年生に対して、希望する児童に、学力向上と高校入試対策のため、学習塾を利用させて、公立高校に1名、私立高校に3名、通信制高校に1名合格することができた。また、中2の児童2名も学習塾を活用している。
- (10) 県内外から、今年も多くの方々が、見学・研修・実習に来園。社会的養護への認知を高めると共に、福祉教育や後継者育成について貢献することができた。
- (11) 5年間にわたり、職員・児童に「CAPワークショップ」を実施し、幼児から中3までの子どもと、それを支援する職員のエンパワメントを行い、権利意識の向上と暴力防止、予防を目指した。
- (12) 児童の健全育成と社会性の涵養のため、小学4年生以上には入部を奨励してきた(希望者)。部活希望者の大部分が希望する部活で年度末まで元気に取り組むことができた。(入部者は合計31名)(別紙一覧表)
- (13) 苦情第三者委員及びサービス向上委員として3名の外部委員を定め、年4回の会議を持つと同時に、園内環境、ホーム支援への意見具申をお願いした。
- (14) 子育て短期支援事業等
*ショートステイ(34名 154泊)
*トワイライト(2名、)2日:夜間0名0回、休日9名9日)
*里親レスパイトケア(2名 4泊)
- (15) 就職自立のために
就職自立の児童5名が自動車学校に通い、無事に普通自動車免許を取得することができた。また、卒園者の訪問や電話連絡など卒園者の情報把握に勤めると同時に、心理的支援に心がけてきた。

月	教 育	施 設	地 域 活 動	職 員 研 修 ・ 交 流
4	学 校 ・ 幼 稚 園 の 行 事 に 順 応 す る	1:辞令交付式 3:進級式・パーベキュー		22:法人新任研修 25~26指導員会総会
5		1:中学校連絡会（家庭訪問） 2:小学校連絡会（家庭訪問） 3:ダルマの杯スポーツ大会 24:慈愛園総合防災訓練 29:実習オリエンテーション 28:神水幼稚園交流会	11:子ども会お見知り会 地域各種団体総会 29:校区社協総会	17:給食担当者会総会 18:行政・施設親善ハレポータル大会 20~22施設合同キャンプ 現任訓練
6			8:ほっとネット砂取	19~21:九州ブロッコ研修会(熊本) 3:保育士会総会 28:指導員会例会(児相)
7		6:七夕まつり 10:合同キャンプ事前作業 3-9:ワンバク絵画展 22:球技大会 24~27:施設合同キャンプ		
8		7~8:サマーキャンプ 19~21球技大会九州大会 31:おやつパーティ	3:神水盆踊り 26~27:スカウト隊キャンプ	
9		21:遊友小子老デー（運動会）	8:ほっとネット砂取	24~26:西日本ヒナ-研修(大阪)
10		12:秋季スポーツ大会	17:ふれあい昼食会	26:職員親善ソフトボール大会 15~16:初級現任訓練 18:保育士・指導員合同研修会
11			23:江津湖あるいとランド (青少協)	6~7:書記会秋季研修会 12~13:保育士会研修会 20~22:全国養護施設長研修会
12		14:きっずクリスマス 23:クリスマス祝会 26:大掃除県、市他慰問、大掃除 27:もちつき 28~ホームビジット	7:子ども会クリスマス 14:ほっとネット砂取 25:スカウトクリスマス 31:シルバーおせち宅配	
1		1:正月祝膳、 2:卒園者新年会 2-3:市内外出買物 5:性教育 6.20.26:CAPワケゴッ	12:消防出初式	24:県養協性教育研修会
2		11:表現祭 3:節分 15:モド・パウ先生愛献の集い 16:法律講習会(県養協司法書士会) 19:高3壮行試合	1:子ども会お別れ会 27:シルバーひなまつり	1:職員親善ボ-リング大会 6:養護協議会研修会 21:指導員会研修会 26~27:FSW研修会
3		16:卒園式 26:大掃除	9:砂取まつり 14:ほっとネット砂取	